

「今後の住宅政策のあり方検討小委員会」における審議結果について

委員長 : 安田 丑作 神戸大学名誉教授
 委員 : 野崎 隆一 (株)遊空間工房 代表取締役
 市川 禮子 (社福)きらくえん 理事長
 中野 則子 (公社)兵庫県看護協会 会長
 濱田 洋 兵庫県立大学経済学部 准教授

平成 27 年度 (凡例 ○ : 議事 → : 主な意見)

【第 1 回】平成 27 年 9 月 3 日 (木) 10:00~12:00 兵庫県庁第 2 号館 11 階 A 会議室

議事 及び 主な 意見	<ul style="list-style-type: none"> ○小委員会の進め方について ○現計画に係る検証・評価について <ul style="list-style-type: none"> →現計画からフレームを大きく変える必要はない →新たな施策展開も重要だが、これまでの取組を拡充していくことも必要 ○論点整理（課題・見直しの方向性）について <ul style="list-style-type: none"> →市町ごとの地域創生の取組を受けて県の住宅政策としてどのような方針で進めるのか検討が必要 →施策を展開する上で前提となる家族モデルを従来より広げて考えることが必要 →時代の流れを反映するに当たり、シェアハウスなど集まって住む価値を生むことについて新しいテーマとして考えることが必要
----------------------	---

【第 2 回】平成 27 年 11 月 6 日 (金) 13:30~15:30 兵庫県庁第 2 号館 11 階 A 会議室

議事 及び 主な 意見	<ul style="list-style-type: none"> ○専門家（外部有識者）からの事例紹介について <ul style="list-style-type: none"> →少子高齢社会に対応した住宅について交流を促す場づくりなどが必要 →これからの高齢者向け住宅のあり方として住戸の面積や質の向上が必要 ○調査事例報告について（サ高住・不動産流通・田舎暮らし） <ul style="list-style-type: none"> →低額所得の高齢者に対する施策の更なる検討が必要 →住まい方の変化に合わせたリフォームへの支援が必要 →兵庫県の多様な地域に応じたアプローチが必要 ○施策の方向性について <ul style="list-style-type: none"> →住宅とサービスを併せて考えた上で住宅施策を考えることが重要 →住宅のハードだけの対応ではなく住教育や住情報の発信が重要 →多様性、持続性、創造性が施策を考える上で重要
----------------------	---

【第3回】平成27年12月21日（月）10:00～12:00 兵庫県庁第2号館11階A会議室

議事 及び 主な 意見	<ul style="list-style-type: none">○住生活基本計画の中間報告案について<ul style="list-style-type: none">→全国計画や県の関連計画と整合し、その関係性が分かるよう整理することが必要→若年世代の定住施策や多世代交流の拠点を生み出す仕組みが必要→県計画の役割は重要であり市町との役割分担を整理することが必要○高齢者居住安定確保計画の中間報告案について<ul style="list-style-type: none">→福祉施策で様々な取組が始まっており、既存の取組を活かした施策展開が重要→地域の高齢者が集まれる拠点が必要で空き家の活用も考えるべき
----------------------	--

平成28年度

【第1回】平成28年5月20日（金）14:00～16:00 神戸市教育会館203会議室

議事 及び 主な 意見	<ul style="list-style-type: none">○住生活基本計画（見直し案）について<ul style="list-style-type: none">→新しい住まいのかたちを兵庫県として模索すべき→持ち家政策からの転換を考える上で長期的に住宅ストックを運営するビジネススタイルの検討が必要○重点的に取り組む施策について<ul style="list-style-type: none">→熊本地震の後だからこそ防災関連の内容を充実させた方がよい→分譲マンションの管理状況などを把握し施策を展開することが必要→地域包括ケアでは在宅でサービスを受けられる環境の整備が必要○成果指標について<ul style="list-style-type: none">→高齢者の住まいに関する指標は、高齢者がきちんと住むことができているか、適切なサービスが提供されているかの2つの視点が必要→新たに打ち出す施策の目標となる指標が重要
----------------------	---

【第2回】平成28年7月7日（木）10:00～12:00 兵庫県印刷会館602会議室

議事 及び 主な 意見	<ul style="list-style-type: none">○兵庫県住生活基本計画（案）について<ul style="list-style-type: none">→マンションは維持管理のほか建替えに向けた合意形成の支援も必要→施策の推進に当たってボランティア団体、専門家、大学等の参画が重要○兵庫県高齢者居住安定確保計画（案）について<ul style="list-style-type: none">→市町における高齢者計画策定を県が促進していくことが必要→良いサ高住は必要であるが、年金でも入居できる程度の家賃の住宅が供給されることも必要→公的不動産を活用したサ高住供給などの検討が必要→高齢単身世帯が増える中で、住み替えと見守り等のサービスを一体とすることが重要
----------------------	--